

## 『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

		担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(1) 歴史的建造物の保全と活用に関する事業	1. 歴史的建造物の資料館などとしての活用	観光振興課	延暦寺の里坊であった旧竹林院や山門公人の住居であった旧岡本家住宅主屋ほかといった歴史的建造物を活用し、坂本の歴史や文化についての情報発信の拠点などとして活用する。なお、管理運営については指定管理者による。	・ 公人屋敷、来館者2,247人 ・ 旧竹林院、来館者26,817人	・ 公人屋敷、来館者2,420人、 ・ 旧竹林院、来館者37,014人	・ 公人屋敷、来館者(11月末) 1,767人 坂本銭座の写真、パネル展示、坂本今昔写真展等 ・ 旧竹林院、来館者(11月末)37,651人 セッコク展、近江の風景スケッチ展、等							
	2. 歴史的風致形成建造物への指定と保存のための整備	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	区域内に存在する歴史的建造物について、所有者の承諾のもと調査を実施し、歴史的風致形成建造物への指定や保存整備（またはその経費の一部の補助）を行う。	歴史的風致形成建造物1件指定。	歴史的風致形成建造物指定候補物件所有者への意向調査。1件の保存修理。	・ 歴史的風致形成建造物の指定候補物件の所有者に対し、指定に係る説明を順次実施。 ・ 令和6年2月15日開催の第13大津市歴史的風致維持向上協議会において、6件の意見を聴取。							
	3. 町家の利活用の支援	〔都市魅力創造課〕 都市計画課	空き町家などを活用することによるまちの活性化と、その担い手を育成することを目的とする「リノベーションスクール」の開催などを行う。	大津町家情報館のホームページ改修。	「町家の日」3/4～3/12開催。イベント協力17店舗	京都から始まり、令和6年は3/2～3/10に全国7箇所で開催される町家普及イベント「町家の日」。大津では令和2年から取り組み、コロナでの中止を経て、3回目の開催。町家でのワークショップやツアーなど30のイベントを実施。							
	4. 未指定文化財の調査	文化財保護課	市内に残る未指定文化財について、所有者の承諾のもと、学識経験者などの指導を得ながら調査を実施し、文化財としての指定や登録などの保護措置や報告書の作成などに努める。	市指定文化財候補調査3件	市指定文化財候補調査5件、民俗文化財調査2件	来年から祭礼運営の在り方が変容する和邇祭（5月開催）の現地調査を実施。							
	5. 文化財保存修理などへの補助	文化財保護課	「大津市文化財保護条例」などにに基づき、市内に所在する国・県・市指定文化財の修理及び管理に要する経費に対し補助金を交付する。	国指定9件 県指定1件 市指定3件 の修理等補助 国指定31件 県指定11件 市指定3件 の管理補助	国指定12件 県指定1件 市指定5件 の修理等補助 国指定30件 県指定10件 市指定4件 の管理補助	国指定9件 県指定2件 市指定7件 の修理等補助を実施中。 国指定31件 県指定11件 市指定4件 の管理補助を実施中。							
	6. 大津市伝統的建造物群保存地区での修理修景への補助	文化財保護課	重要伝統的建造物群保存地区の歴史的景観を維持し向上させるため、歴史的建造物の保存修理事業または歴史的建造物以外の建築に関する修景事業を行う事業者に対して、修理または修景の補助金を交付する	1件の修理補助	1件の修理補助	・ 1件の修理事業実施済み。 ・ 今後2件の修理事業と1件の修景事業を実施予定。							

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(2) 歴史的建造物の周辺環境に関する事業	7. 大津市景観計画の改定	大津市景観計画の改定を行う。重点区域においては、特に歴史的なまちなみ景観の保全・形成を目指し、建築物などへの新築・増築などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定する。	・景観審議会へ景観計画の改定諮問 ・景観計画改定専門部会の設置及び開催(2回) ・計画計画改定に伴う基礎調査実施	第2次大津市景観計画の骨子、素案原案完成。	景観重点地区でのワークショップを実施し、地区に関わる市民や事業者等から意見を聴取し、第2次大津市景観計画原案に反映し、原案の作成。							
	8. 景観保全型広告整備地区の新規設定	歴史的まちなみ景観の保全・形成を目指し、屋外広告物の新設などの行為に対する新たな規制誘導基準を設定するため、景観保全型広告整備地区を新たに設定する。	景観保全型広告整備地区の設定に向けて地元協議	景観重点地区指定に向けた候補地の現地調査及び地元説明の実施。	景観重点地区指定に向けた地元説明とワークショップを実施。							
	9. まちなみ修景整備への補助	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	歴史的まちなみの景観を保全及び形成するため、景観に配慮した建造物の外観の整備を行う者に対して、その経費の一部を補助する。	堅田重点区域において修景整備の協議1件	堅田重点地区で1件、坂本重点区域で1件の修景補助を実施。	堅田重点区域で、庇の設置、和風瓦屋根葺、格子設置等の修景1件、坂本重点地区で塀の修理1件に、補助金を交付。						
	10. 道路の美装化	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 〔道路河川管理課〕 都市計画課	【市道幹1012号線、市道北2145号線ほか】歴史的なまちなみと調和した修景舗装などによる空間整備を行う。 【市道中2524号線、市道中3315線】歴史的まちなみや大津祭の曳山及び長等神社の参道と調和した修景舗装などによる空間整備を行う。	令和4年度からの実施に向けて予算協議	堅田重点区域で修景舗装140mを実施。	・堅田重点区域は令和4年度で完了。 ・大津百町重点区域で、水道ガス改良工事ともなう美装化を予定。地元説明済。						
(3) 伝統的な祭礼行事、活動に関する事業	11. 文化観光振興などへの助成	〔観光振興課〕 文化財保護課	大津市文化観光振興基金条例に基づき、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、市指定有形・無形民俗文化財保存修理事業への補助を行う。	2件に補助金を交付	3件に補助金を交付	「大津市観光振興基金条例」を廃止し、文化財保護条例に基づく修理及び管理に要する経費に対する補助金の交付として、「5. 文化財保存修理などの補助」に統合。						
	12. 祭行事の開催費用の補助	観光振興課	市内各地で行われる多くの祭行事は本市の歴史的観光資源である。そのなかでも特に本市の観光振興に寄与すると思われる祭行事の開催に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。	大津三大祭の開催経費補助	大津三大祭の開催経費補助	大津三大祭の開催経費補助 ・大津祭 感染症流行前と同水準で実施。 ・日吉山王祭 感染症流行前と同水準で実施。 ・船幸祭 前年同様通常通りで実施。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	13. 歴史的観光資源を活用した事業への補助	観光振興課 祭行事のパブリックビューイングの開催など、市内に点在する歴史的観光資源を活用した事業に要する経費に対し、必要に応じて学識経験者などの指導を得ながら、補助金を交付する。	7件の事業に補助金を交付	6件の事業に補助金を交付	5件の事業に補助金を交付 ・紫式部の古硯を活かしたプロモーション・集客事業 ・坂本歴史街道～どうする家康、戦国の坂本を歩く～ ・堅田のまち 魅力再発見 ・古都十社湖信会 びわ湖の桜とあお若葉等							
(4) 歴史や伝統文化に対する市民意識に関する事業	14. 地域の歴史資料館の運営の補助	観光振興課 堅田の歴史について展示を行っている湖族の郷資料館を運営する実行委員会への補助を行う。また、大津祭に関する展示などを行っている曳山展示館を情報発信の拠点として指定管理者による管理運営を行う。	・湖族の郷資料館、来館者1,397人 ・大津祭曳山展示館、来館者20,290人	・湖族の郷資料館、来館者1,124人 ・大津祭曳山展示館、来館者29,033人	・湖族の郷資料館、来館者(12月)951人、 ・大津祭曳山展示館、来館者(11月)20,544人 ・感染症により通常どおりの運営ができない状況が続いていたが、持ち直しつつある。							
	15. [副読本、文化遺産マップなどの作成] 地域固有の歴史・文化遺産の発信	[都市計画課] [都市魅力づくり推進課] 都市計画課	地域で歴史に関する研究、発表を行っている団体が作成した地域の歴史に関する副読本や文化遺産マップなどを製本、印刷する。	2件の副読本及び文化遺産マップを製本、印刷	3件の副読本及び文化遺産マップを製本、印刷	1団体から応募があり、「穴太 松ノ馬場 歴史散歩イラストマップ」3,000部増刷。団体の活動に利用するとともに、坂本観光案内所や大津駅観光案内所、旧竹林院など多数の場所で配布されている。						
	16. 東海道統一案内看板の普及啓発	都市計画課	現在、本市内の東海道沿道の一部地域では、東海道であることを表示する看板を設置している。しかし、デザインが統一されていないなどの理由でわかりにくいことから、東海道であることを東海道沿道の地域住民や来訪者にわかりやすく伝えるため、草津市役所と連携し、「東海道統一案内看板ロゴマーク」が描かれた案内看板の設置を東海道沿道の地域住民などに普及啓発する。	大津市内で13基、草津市内で1基の東海道案内看板を設置	大津市内2基、草津市内で3基、湖南市で2基の東海道案内看板を設置	・今年度は大津市内で1基、草津市内で2基の東海道案内看板を設置予定。 ・景観への理解を得るために募集した景観チャレンジ隊の参加者は60人。上記の今年度設置予定の看板の着色を体験。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
17. 地域の人材活用の支援	〔都市計画課〕 〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	地域での観光ボランティアガイドや歴史に関する研究、発表を行っている個人や団体に対して、団体間の交流を促す交流会や歴史に関する知見をさらに深めてもらうための勉強会を開催する。	・堅田、坂本、大津百町の3重点区域で「歴まち講座入門編」を3回開催。参加者51人 ・関係団体の交流会開催。参加9団体、15人	堅田、坂本、大津百町の3重点区域で「歴まち講座上級編」を3回開催。参加63人	・古都指定20周年、大津草津連携10周年記念事業として、「大津市歴史まちづくりフォーラム～東海道と大津宿の歴史を生かしたまちづくり～」を開催。日時：2月24日、会場：大津市歴史博物館、参加者：80名。 ・堅田、坂本、大津百町の3重点区域で国土交通省などと連携して『Pokemon GO』のゲーム上に歴史的建造物を紹介するポケストップ48か所を設置し、歴まちルートを6ルート設定した。 ・坂本重点区域、堅田重点区域を中心に、次世代の地域住民へ歴史文化を継承する目的で、歴史的風致の魅力を発信する動画「大津歴まち90秒大学」を30本制作した。							
18. 大津まちなか大学の開催	〔都市魅力づくり推進課〕 都市計画課	まちづくりの中核を担う人材を育成することを目的に大津まちなか大学を開設している。同大学には、大津を訪れる人に大津百町の魅力を伝え、積極的に発信できる人材の育成を目的とした「大津百町おもてなし学部」を改めて令和5年度から開講した「歴まちガイド育成学部」と、大津祭を学び、体験することを通じて先人の知恵と気質を継承していく人材の育成を目的とした「大津祭学部」があり、それらの学部でまち歩き講座やワークショップの開催などを行う。	・大津祭学部 受講生24人、講座10回 ・おもてなし学部 受講生個人7人、1団体2人、開催6回。	・大津祭学部 受講生28人、講座11回。 ・おもてなし学部 受講生42人、開催2回。	・大津祭学部は34名の参加があり、11回の講義、フィールドワークを実施し、33名が卒業した。 ・おもてなし学部を改め、今年から歴まちガイド育成学部を開講した。17名の参加があり、5回の講義とフィールドワークを開催し、17名が卒業予定。							
19. 大津人実践講座の開催	生涯学習課	市民を対象に、地域の歴史や福祉など複数あるテーマのうちから、テーマを1つ取り上げ、テーマにあった地域づくりに取り組んでいる団体の活動などについて学ぶ機会を設けることで、地域への関心を高め、地域を愛する心を育み、地域づくりに貢献する人（大津人）を育てる。	受講生19人、講座7回。	受講生25人、講座8回。	・基礎講座（5月と7月）と実践講座（10月から12月）を実施。 ・基礎講座は2回の開催で受講生195人 ・実践講座は地域住民や龍谷大学の学生の協力を得ながら、藤尾地区をフィールドに4回開催、受講生15人、藤尾学区住民5人、学生10人。							

## 『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
20. 埋蔵文化財調査成果の展示会などの開催	文化財保護課	発掘調査の成果の展示や埋蔵文化財に関連する講座を開催する。	・展示会4回、参加者843人 ・講座9回、参加者242人 ・現地見学会1回、参加者16人	・展示4回、観覧者1,431人、 ・講座8回、参加者184人、 ・現地見学会1回、参加者23人	・特別企画展「すばらしき文物・大津市指定文化財考古編」、遺跡紹介展「苗鹿遺跡」等、4回の発掘調査展を開催、観覧者1,332人(1月) ・講座5回、参加者183人 ・現地見学会「近江最古の古墳 壺笠山古墳」、参加者20人							
21. 歴史博物館での常設展示及び企画展示の実施	歴史博物館	本市の持つ南北に細長い地理的特色を踏まえ、地域に焦点をあてた「テーマ展示」と市域全域の歴史の流れを年代順にたどる「歴史年表展示」によって構成された常設展示を実施する。また、市内での歴史上の出来事や歴史上の人物などのテーマに基づいた企画展示を開催する。	・企画展5回、観覧者8,312人 ・常設展示（ミニ企画展6回）、観覧者16,019人	企画展5回、観覧者10,355人、	・共催展「湖都大津の災害史」、企画展「発掘された大津の歴史」等4回の企画展を開催、観覧者7,344人 ・常設展示では7回のミニ企画展を開催、 ・1月10日からは常設展示室で大河ドラマ「光る君へ」の関連展示として特集展示「源氏物語と大津」を開催。							
22. 歴史博物館での資料の調査や収集	歴史博物館	個人や団体が所有する本市の歴史に関する資料について、調査を行い、収蔵品収集審査会の審査のもと資料を収集し、歴史博物館の資料の充実を図る。また、資料に関する研究を行い、その成果を広報する研究紀要を発行する。	・未指定文化財調査8件 ・収蔵品資料、9件購入、9件受贈 ・研究紀要と史料集2冊刊行	・未指定文化財調査36か所58回 ・収蔵品13件購入、1件受贈 ・研究紀要と史料集4冊刊行	「歴史文化魅力発見事業」として ・市内寺社未指定文化財調査を24か所46回を実施。 ・大津の食文化資料調査、大津町絵図、古写真整理公開等のプロジェクトを実施 ・収蔵品4件の購入と4件の受贈を受ける予定。							
23. れきはく講座などの開催	歴史博物館	市内の文化財などに関する情報発信を行う「歴博だより」の発行や市民を対象にした「れきはく講座」、小学生などを対象にした「ワークショップ」などを開催する。	・れきはく講座32回開催、参加者1,299人 ・子供向けワークショップ16回開催、参加者201人	・れきはく講座31回開催、参加者1,750人、 ・子供向けワークショップ16回開催、参加者244人	・53回のれきはく講座を予定。現時点で、講座18回、現地見学会1回、ワークショップ6回、スライドトーク4回、ギャラリートーク12回を開催、参加者1,719人 ・子供向けワークショップは8回の開催で222人参加(申し込み574人、抽選で決定)							
(5) 歴史を活かした地域活性	24. 観光施設の維持管理	観光振興課	堅田重点区域への主な動線上にある堅田観光駐車場（東洋紡前、湖族の郷資料館前）の維持管理を行う。	堅田観光駐車場2か所	堅田観光駐車場2か所	堅田観光駐車場2か所						
	25. 公共空間の活用	〔都市魅力づくり推進課〕 都市魅力創造課	JR大津駅から大津百町区域への主要な動線となる市道幹1037号線において、歩きやすい歩行者空間の整備を行うことに加えて、オープンモールなどのイベントを開催することにより、にぎわいを創出する。	イベントエリア、利用日数6日	イベントエリア、利用団体4団体、利用日数29日	株式会社まちづくり大津の主催で、9月17日、24日、10月1日に、大津まちなか飲食店支援プロジェクトとして「Beer and marche」を開催。						

『大津市歴史的風致維持向上計画』（令和3年～12年）進捗管理表（「担当課」「事業概要」の赤字は今年度の変更部分） 資料2

化や観光振興に関する事業	担当課	事業概要	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
			26. 道路の拡幅整備（都市計画道路比叡辻日吉線）	道路建設課	山王祭の主要ルートであり、JRや京阪電車の駅から坂本区域への主要な動線となる都市計画道路3・4・46号比叡辻日吉線の拡幅とそれに伴う無電柱化、修景整備を行う。	用地買収7件 側溝工事7件	用地買収4件 側溝工事6件	・事業期間を令和6年度から令和9年度に変更。 ・用地買収3件 ・側溝工事2件 ・仮舗装6件				
27. 道路の拡幅整備（都市計画道路本堅田衣川線）	道路建設課	主要幹線道路から堅田重点区域への主な動線となる都市計画道路3・5・101号本堅田衣川線の拡幅とそれに伴う修景整備を行う。	用地測量2件 補償調査1件	補償調査1件	用地買収が1件（未引渡し）							